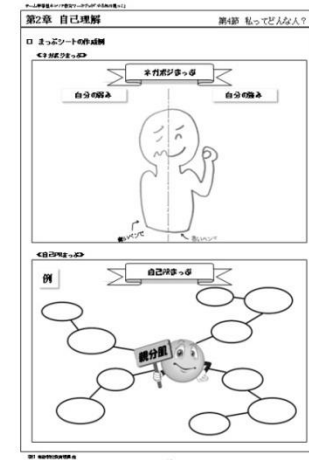
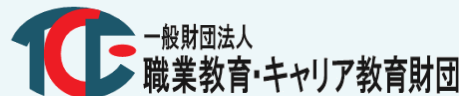


チーム学習型キャリア教育ワークブック

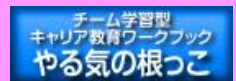
やる気の根っこ

(リングファイル型式)

- 「やる気の根っこ」は、チーム学習型のキャリア教育ワークブックです。学生が本書を利用して**チーム学習を行うことにより、楽しく効果的にキャリアについて学ぶことができる**よう編集されています。同時に、一定の規則の中で行われるチームでのグループワークは、**コミュニケーション能力の育成**に大きな効果を発揮します。
- 教職員の皆様へは、**ダウンロード形式の教員用ガイド**を用意しております。ぜひ、このサンプルを利用し、チーム学習型のキャリア教育をご体験いただき、チームの持つ力の大きさ、チームの持つ力を通して学生が気づくことを実感してください。
- このサンプルは、「やる気の根っこ」の採用を各校でご検討いただくために、実際のワークブックの一部とその部分の教員用ガイド等を掲載したものです。上記目的のための試験的なご利用に限り、本サンプル 12~15 ページの複写使用を認めておりますので、キャリア教育の導入教材ご検討の一助としてご利用ください。



◎配信中！やる気の根っこ活用研修会
 本書を活用するために行った研修会の模様をインターネット上で配信しています。当財団 HP のトップページ右側のバナーからご覧ください。



「やる気の根っこ」

一般財団法人 職業教育・キャリア教育財団（旧・財団法人専修学校教育振興会）では、平成 17 年度より、キャリア・サポート＜学生が自分自身のキャリア（仕事人生）を主体的に設計・選択・決定できるように支援すること＞を推進するために、教職員が有すべきマインドやスキルを養成するキャリア・サポーター養成講座を実施して参りました。

講座は現在まで続き、受講いただいた 350 余校の先生方からお喜びの声を頂く一方で、多くの方から「キャリア教育の重要性はわかるが、学生を対象にする授業の展開には不安がある。せっかく学んだマインドやスキルを学校教育の場で一層有効に活用するため、**学生用の教材を開発**して欲しい」というお声を頂戴いたしました。

そこで職業教育・キャリア教育財団では、平成 21 年度に文部科学省の補助を受けた研究委員会を立ち上げて教材の研究開発を行い、キャリア・サポーター養成講座受講の有無に関わらず、全ての教職員がキャリア教育の現場で活用することのできる“**学生用ワークブック**”としての**本書**を平成 22 年度より全国の皆様へご紹介することとなりました。

授業の想定時間は 15 コマ（1 コマ 90 分）。全コマを実施することにより最大の学習効果が得られるよう編集してありますが、部分実施や他の授業の一部に組み入れて利用することも可能です。

本誌は「やる気の根っこ」を授業で採用いただくための検討用資料としてご利用頂くための「教材 SAMPLE&教員用ガイド」で、50 分授業または 90 分授業で利用できる構成にしています。

各校におかれましては、この教材サンプルをご参考に、本書の採用をご検討いただきますよう、お願い申し上げます。

平成 27 年 8 月
一般財団法人 職業教育・キャリア教育財団
キャリア・サポート事業運営委員会

定価：900 円+税（A4版・72 ページ）

※ お申し込み方法：最終面の注文書を FAX にてご送信ください。

※ 送料・納期等の詳細は最終面の注文書をご確認ください。

【教材 SAMPLE&教員用ガイドの構成】

○教員用ガイド	
50 分授業用	P.3～5
90 分授業用	P.6～8
ライフイベント(記入例)	P.9
○参考 やる気の根っこストーリー・目次	P.10
○参考 受講生の声	P.11
○教材サンプル 第 2 章 自己理解 第 1 節 過去を振り返ろう！	
1. K 君のお話から (90 分授業用)	P.12
2. K 君のお話から ～ワークシート～ (90 分授業用)	P.13
3. 仕事の根っこ (人生の根っこ) (50 分・90 分授業用)	P.14
4. 私が燃えるわけは？ (50 分・90 分授業用)	P.15
○「やる気の根っこ」注文書	P.16

【ご利用上の留意点】

- 「やる気の根っこ」における教員の主な役割はファシリテーションです。まず、学生自身に気づかせることを大切にしてください。
- ガイドの時間配分は目安です。ワーク全体の流れを大切にしながら、学生が考え、気づくことができるように、じっくりと取り組ませてください。
- 時間配分、進め方においても、「気づかせる＞導き教える」の原則を大切にしてください。
- ガイドで示した教員の言葉は参考例です。みなさんそれぞれの経験を活かして、自分の言葉で学生に伝えてください。そのためにも、事前準備として、ワークの指導目標を理解し、参考例をしっかり読んでいただき、ワークを通して何を気づかせ、何を伝えるかを把握しておくことが大切です。

1. 教材
- ・教材サンプル P14～15：過去を振り返ろう
 - ・教材サンプル P9：ライフイベント (記入例)

2. 備品
- ストップウォッチ (教員用)

3. 指導目標
- 自分が将来の方向性を決定する上で、どんな視点で考えているのか。
過去を思い出して、自分が頑張ったことや嫌だったことを振り返る。更に、他者に伝え、そして聴くことで、自分にとって大切に思うことや嫌だと思うことについて気づきを得る。

◎教員としての大切な価値観

- ・経験には意味がある。
- ・生き甲斐、働き甲斐はあるはず。
- ・人生はダイナミックだ。
- ・人生は必然の連続だ。

＜＜留意事項＞＞ 参加者全員で心地よい時間を作る。

⇒セルフワークでは、周りを気にせず素直な自分の気持ちを書きます。ワークシートに記入する時間では、開始と終了の合図をします。その時間は一人ひとりの大切な時間なので、静かに自分自身との対話をしましょう。終了の合図前に書き終えた方は終了の合図まで他の方が心地よく対話をしていることに配慮して、今一度脳裏で自分と対話しておきましょう

⇒どうしても言葉にしたいものは心のぶれだけを記入しましょう。

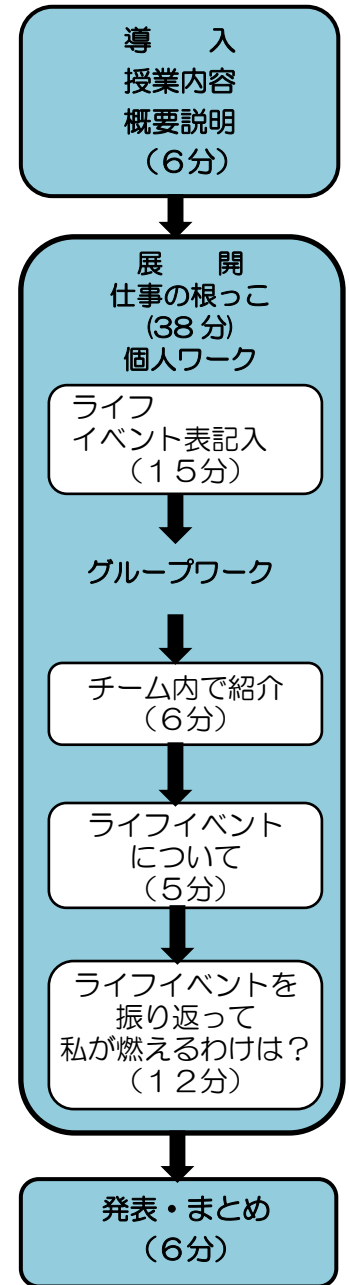
⇒ワークシートは、今後皆さんが気づいたときに振り返って何度でも書き直ししたり、書き加えたりしてかまいません。また将来働き出したとき、思い出すこともあると思います。

⇒チームワークでは、書いたことをすべてお話する必要はありません。自分から話をしたいと思う事柄を話していただければ結構です。また、他人の個人的な内容をメモすることは遠慮しましょう。チームで話をする際は、原則筆記用具を持たず話をする、聴くことに専念しましょう。

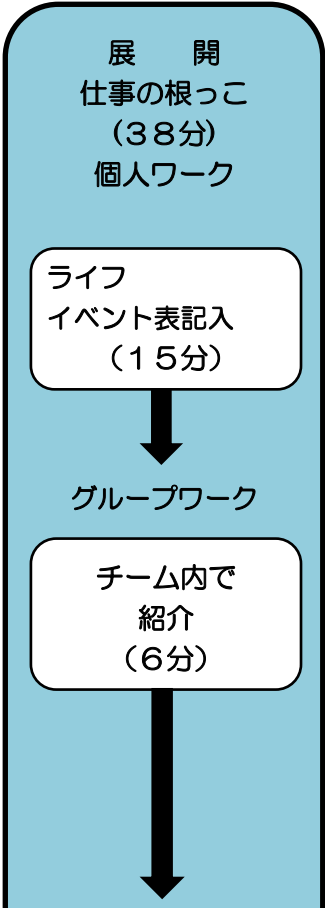
⇒メンバーで話をする際、他人の話を中断するような質問や自分の発言は控えましょう。他人の話に反論することはしないことをルールとします。各自の話は、人それぞれの声だと受け止めましょう。



⇒メンバー内で、話をする役、聴く役と固定的にならないように、全メンバーで互いに気遣いながら進行しましょう。進行役をあえて決めずに、全員がお互いに意識して、話をする順を決めてください。話をするのが苦手の方もいます。温かくチームメンバーとして対応しましょう。話ができないことは悪いことではありません。

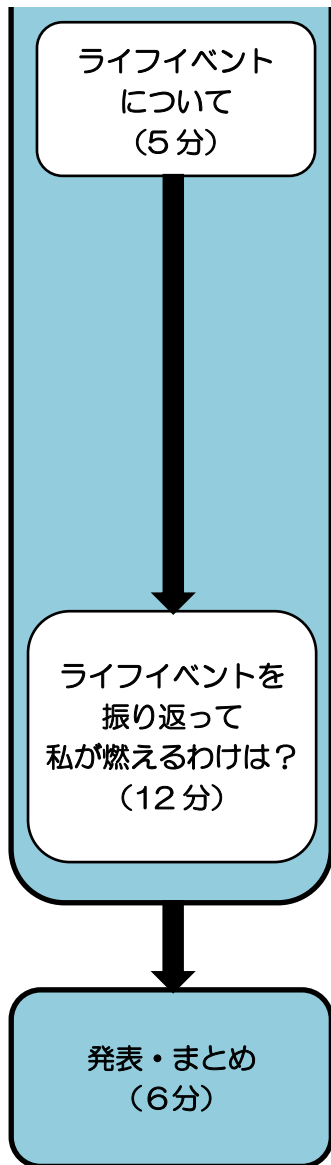
⇒授業時間で、話された内容はこの授業内だけに留めてください。授業が終われば、内容はリセットして、他人に話をすることは避けましょう。




導入
授業内容
概要説明
(6分)



学習内容および手順	教員の発問および留意点	形態
<p>1. この授業内容の概要を説明する。 (6分)</p> <p>2. 留意事項 3. 配布物</p> <p></p>	<p>1. 「過去を振り返ろう！」では、皆さん一人ひとりの幼稚園・小学校の頃から今に至るまでを素直な気持ちで思い出していただきます。頑張ったこと、辛かったり嫌だったこと、嬉しかったり楽しかったことを振り返り、その内容を伝えたり聴いたりしてもらいます。そうすることにより「自分にとって大切なもの」や「心の軸」に気づくかもしれません。話をする時間では、その場の雰囲気大切に皆で参加しましょう。</p> <p>2. 留意事項の説明 3. プリント配布</p>	<p>一斉</p>
<p><仕事の根っこ(人生の根っこ)> 1. ライフイベント表を記入 (15分)</p> <p>ライフイベントを振り返り、その時の気持ちのライフラインとして表現する。</p> <p>* 見本として、例を教員自身が、説明しながらライフイベント表を板書するか、例示の表を示すとよりわかりやすい。 </p> <p>(巡回をして進捗状況を確認する。時間は数分前後させて構わない。)</p> <p>* ペンが止まっている人には、近くによって声をかける。</p> <p>2. 4人グループで1分ずつ簡単に自分のライフイベントを紹介する。 (6分)</p>	<p>1. 「幼稚園・小学校入学時あたりから現在に至るまでの出来事(ライフイベント)を書きます。隣に年齢も記入しましょう。そして、その時の自分の気持ちの振れをプラスマイナスで判断して、点で記入します。そして、最後にその点を一本の線でつなぎましょう。」</p> <p>「記入する時間は12分です。自分の気持ちがどのようなときに高まるのか、あるいは燃えるのか、どのようなときにへこんでしまうのか、イベントを記入してみて改めて気づくこともあるでしょう。」</p> <p>「ライフイベント表を書き終えた方は、記入して思ったことを感想欄に書いておきましょう。」</p> <p>2. 左右前後の4名(～6名可)、顔をあわせて、全員が自分のライフイベント表を話しができる、あるいは話をしても良いと思う範囲で紹介する。</p> <p>「では、近くの人でグループになりましょう。一人1分程度で自分のライフイベントを紹介してください。その際、特に自分が一番プラスに振れたところはどんな時で何がそう思えたのか、逆に一番マイナスに振れたのはどんな時で、何がそう思えたのかを、話してもよいと思う範囲で話しましょう。話を聴くときは、質問をしないで、時間があったら後で質問してください。それでは、話をしたい方から順にお話を開始してください。」</p> <p>(「1分経ちました。交代しましょう。」「1分経ちました。交代しましょう。」)</p> <p>全体を見渡した上で、 「時間になりました。それでは前を向きましょう」</p>	<p>セルフワーク</p> <p>チーム学習 4名一組</p>



<p>3. ライフイベントについての説明 (5分)</p>	<p>3. 「今回の授業でライフイベント表を書いて、何か気づきがあったでしょうか。また、へこんだことや良かったと思えたことの『わけがわかる』ということにより安心が生まれるということもあります。」</p> <p>「気持ちが落ち込んだときのイベント、あるいは満足していたときのイベントを見つめてみると、自分が大切に感じていたことがわかるかもしれません。それは、生きていく上で、これから働く上でも大切にしていきたいと思うことではないでしょうか。どうですか、何か発見はありましたか？」</p> <p>今お話しした自分にとって大切なこと、これからも大切にしていきたいと思っていることが分かっていると不測の事態におかれても明るい光や解決の糸口を見つけられ乗り越える力や支えになることがあります。また、それが自分自身のぶれない軸となるかもしれません。</p> <p>今日のこの作業で、改めて個人個人が違う価値観で生きているということに気付いた人も多いのではないのでしょうか。例えば、ポジションにこだわる人や役割を担うのを大切にする人もいれば、自分らしさに重点を置く人、自由を追い求める人もいます。皆、価値観は違っていいんです。そして皆さん自身はどうだったでしょうか。</p> <p>人というのは軸となる自分の根っこが理解できていると落ち着いていれたり、安心できたり、冷静になれたりするようです。自分の根っこ、自分らしさを是非大切にしていきたいと思います。」</p>	全体
<p><私が燃えるわけは？></p> <p>1. ライフイベント表を振り返りながら、一番燃えていたことについて書き出す。 (4分)</p> <p> P.15</p> <p>2. ライフイベント表を振り返りながら、一番嫌だったことについて書き出す。 (4分)</p> <p>3. 「燃える」ために必要な条件とあってはならない条件を書き出す。 (4分)</p>	<p>1. 「それでは次に、ライフイベント表を振り返りながら、これまでの人生で一番夢中になったり、燃えたり、ヤッターと感じたのは、いつ頃で、どんなことをしていた時かを探しましょう。そして、その時に思ったこと・感じたこと・考えたことも書き出し、さらにどうして燃えたかも言葉で表現してみましょう。この“言葉で表現する”という作業が重要です。誰かに伝え、理解してもらおうということが自己成長にもつながります。」</p> <p>2. 「また、これまでの人生で一番落ち込んだり嫌だったりしたことは、どんなことをしていた時で、いつ頃でしたか。そして、その時に思ったこと・感じたこと・考えたことも書き出して、さらに、どうして燃えなかったのかを考えて言葉で表現してみましょう。」</p> <p>3. 「ライフイベントを書き、『燃えるわけ』と『燃えないわけ』を書き終えたら、最後に、燃えるために自分にとって必要な求める条件とあってはならない条件を書き出しましょう。」</p>	セルフワーク
<p>1. 発表</p> <p>2. まとめ</p>	<p>1. 時間をみて、今日のセルフワークとチームでの話し合いを通じての感想を代表者に発表してもらおう。 指名をせずに発表してもらいたい旨を伝えて、挙手した方の発表を期待する。</p> <p>2. 「今日はなかなか記入できなかった方もいるでしょう。まずは、今日は書けなかったという事実を受け止めましょう。今日書けなかったから、ずっと書けないということではありません。ただ、日々何も考えずに過ごしていたら、これから先も書けないままかもしれません。大切なのは書けるようになります。」「今日の内容はどれもその人にとっては正解です。話せない内容があったとしても、今は話せないということで受け入れましょう。」</p> <p>3. このワークシートをリングファイルに綴じて、終わります。「ワークシートの右上に、「今日の日付」を記入しておきましょう。」</p>	全体

1. 教材
 - ・教材サンプル P12～15：過去を振り返ろう
 - ・教材サンプル P9：ライフイベント（記入例）
2. 備品
 - ストップウォッチ（教員用）
3. 指導目標

自分が将来の方向性を決定する上で、どんな視点で考えているのか。過去を思い出し、自分が頑張ったことや嫌だったことを振り返る。更に、他者に伝え、そして聴くことで、自分にとって大切に思うことや嫌だと思うことについて気づきを得る。

◎教員としての大切な価値観

- ・経験には意味がある。
- ・生き甲斐、働き甲斐はあるはず。
- ・人生はダイナミックだ。
- ・人生は必然の連続だ。

4. ワーク「過去を振り返ろう」の流れ（90分バージョン）

★ポイント

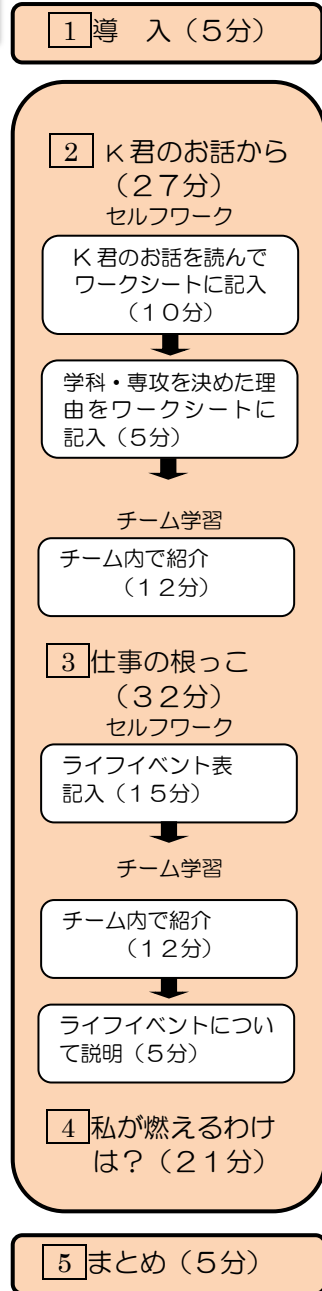
- 1 導入（5分）
 - ★ 前回のチーム学習を振り返り、その場の雰囲気大切に話ができるよう促す。
- 2 K君のお話から（27分）

説明からセルフワーク

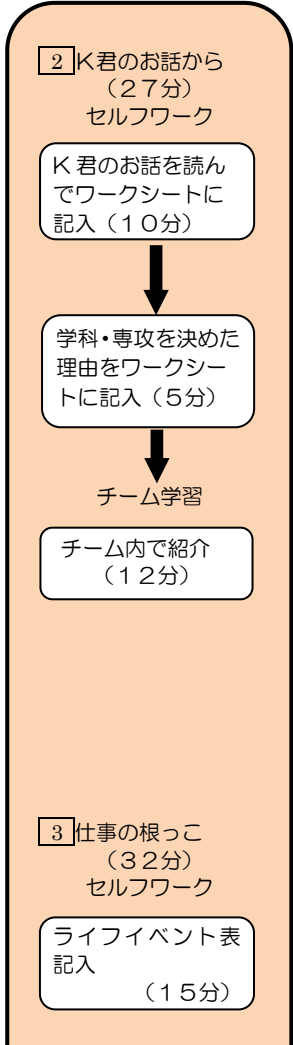
 - ★ K君のストーリーをベースに、自分の過去を振り返りどのような視点で学科・専攻を決めたのかを考える。
 - チーム内で発表
 - ★ 同じ学科・専攻であっても、視点がそれぞれ違うことを気づかせる。キャリアも人それぞれ違う。
- 3 仕事の根っこ（32分）

説明からセルフワーク

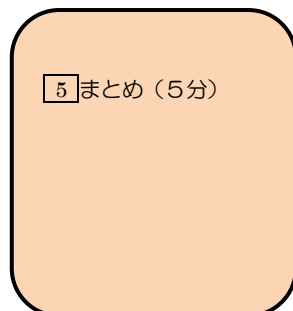
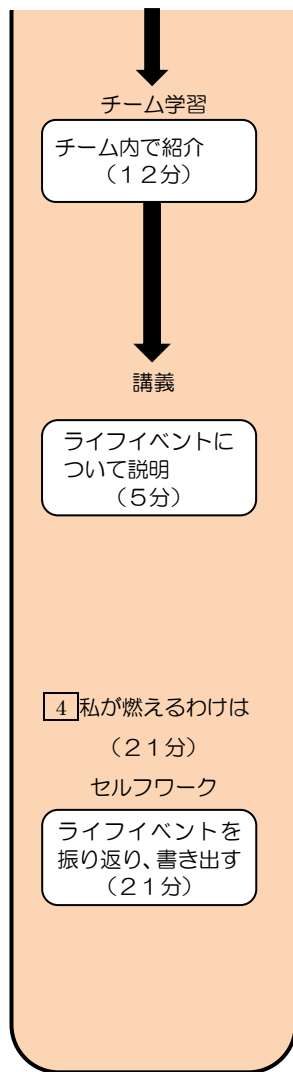
 - ★ ライフイベント表の年齢を記入する欄は学年でもよい。また、同じ年齢に複数のイベントを記入してもよい。
 - ★ プラスマイナスの気持ちの揺れを点で記入し、線で繋ぐことにより、イベント間の詳細を思い起こす。
 - チーム内でライフイベントの紹介
 - ★ どうしても話したくない内容は話さなくても良い。またはライフイベント表を記入した感想でも良い。
- 4 私が燃えるわけは？（21分）
 - ★ 過去を振り返ることにより、自分の視点を知る。
- 5 まとめ（5分）
 - ★ 人生・価値観は人それぞれであり、キャリアも人それぞれである。キャリアに良いも悪いもない。



1 導入 (5分)



学習内容および手順	教員の発問および留意点	形態
<p>1 導入 (5分)</p>	<p>1. 「第1節「過去を振り返ろう!」は、皆さん一人ひとりの小学校あたりから今に至るまでを思い出していただくと思います。前回のチーム作業を思い出し、話し合う時間では、その場の雰囲気大切にしてください。」</p>	<p>講義</p>
<p>2 K君のお話から</p> <p>1. K君のお話を読む (5分)</p> <p>P.12</p> <p>2. 2つの問いについてワークシートに記入 (5分)</p> <p>P.13</p> <p>3. 自分の志望した理由は? (5分)</p> <p>4. 4~5人のメンバーで一人ずつ、自分の専攻理由の話を (12分)</p>	<p>1. 「それでは、12ページのK君のお話を各自読んでみましょう。」</p> <p>2. 「読み終わりましたら、次ページの「K君が進路を決めた理由」と「Tさんの言葉で、気持ちの変化が生まれたのですが、K君はどんなことに気づいたのでしょうか」この2つの問いについて、各自思ったことを書いてください。」</p> <p>「5分程度の時間をとります。それでは始めましょう。」</p> <p>(教室を見渡して進捗状況を見ること。時間は数分前後させてよい。)</p> <p>*ペンが止まっている人には、近くによって、「今どんな感じですか?」「私がアドバイスできることがありますか?」などと声をかける。</p> <p>3. 「次に、今貴方が学んでいる学科・専攻を決めた理由は何でしたか。皆さん一人ひとり思い出しながら書き出してみましょう。どんなきっかけでどんな思いだったのでしょうか。5分程度で書いてみましょう。」</p> <p>4. チームを作る。メンバーは4~5人で作る。時間も考慮して、先生が分ける。</p> <p>「一人2分程度です。順番は話をしたい方から、「それでは私が」と言って話しをしてください。時間は自分で管理しましょう。話をしている間は、他の方は優しく注目して静かに聴きましょう。終われば、他の方へとすすめてください。」</p> <p>チームによっては、早く終わったりするかもしれませんが、他のチームが終わるまではもう一度メンバー内でお話をしてください。また、最後に13ページの気づきを書いておいても構いません。」</p> <p>*チーム間の進捗状況を巡回しながら確認しましょう。場合によっては、時間変更を行い、気づきの記入を進めて、時間内に終わるように助言してください。</p> <p>*チーム内で本題と異なる話が進んでいるようであれば、「今チームはどんな状態ですか」「時間内に終わりそうですか」「チームの雰囲気はどうですか」などと質問形式で問いかけてみよう。</p>	<p>セルフワーク</p> <p>チーム学習 4人1組</p>
<p>3 仕事の根っこ</p> <p>1. ライフイベント表を記入 (15分)</p> <p>ライフイベントを振り返り、その時の気持ちをライフラインとして表現する</p> <p>P.14 P.9</p>	<p>1. 「小学校入学時あたりから現在に至るまでの出来事(ライフイベント)と年齢を書きます。また、自分の気持ちの振れ(プラスマイナス)の程度を点で記入し、その点を一本の線として、つなげていきます。」</p> <p>「記入する時間は12分程度が目安です。自分はどのようなときに活力が高まるのか、どのようなときにへこんでしまうのか、自分史の事実から気づくこともあるでしょう。」</p> <p>*見本として、例を教員自身が、説明しながらライフイベント表を板書するとよりわかりやすい。「ライフイベント表を書き終えた方は、記入して思ったことを感想欄に書いておきましょう。」</p>	<p>セルフワーク</p>



<p>2. チームで簡単に一人ずつ自分のライフイベントを紹介する (12分)</p> <p>3. ライフイベントについて、説明をする (5分)</p>	<p>2. 左右前後の4名程度、顔をあわせて、全員が自分のライフイベント表を話しができる、あるいはしてもよいと思う範囲で紹介する。 「4人のメンバーになりましょう。全員が一人2分程度で自分のライフイベントを紹介してください。その際、特に自分が一番プラスに振れたところはどんな時で何がそう思えたのか、逆にへこんだのはどんな時で何がそう思えたのかを、話してもよいと思うことをお話ししましょう。他のメンバーは、話を聴くときは、質問や自分の話をするのは避けましょう。それでは、話をしたい方から順にお話を開始してください。2分前には合図を一旦しますので、時間内に全員が話し終えるように各自で時間配分をしましょう。それでは、始めてください。」 「2分前です。全員が紹介しましたか？」</p> <p>3. 全体を見渡した上で、 「時間になりました。それでは、前を向きましょう。ライフイベント表を書くことで、人によっては次のような気づきがあったかもしれません。」 ・「へこんだことや良かったと思えたことの「理由がわかる」ことによる安心もうまれたりします。」 ・「気持ちが落ち込んだときのイベント、あるいは満足していたときのイベントを見つめてみると、自分が生きていく上で、働く上で大切にしているものは一体何かが浮き彫りになってきませんか。これが分かっていると不測の事態におかれても明るい光や解決の糸口を見つけられることが多いですよ。ここでも個人個人が違う価値観で生きていることが互いに分かったことと思います。ポジションにこだわる自分であったとか、自分らしさに重点を置く自分であったとか、役割を担うのを大切にする自分であったとか、自由を追い求める自分であったとか。人というのは自分の根っこが分かってくると安心できたり、冷静になれたりするようですね。ただ、どうであれ、自分らしさというのは是非大切にしていきたいものです。」</p>	<p>チーム学習 4名1組</p> <p>講義</p>
<p>4 私が燃えるわけは? (21分) セルフワーク</p> <p>1. ライフイベント表を振り返りながら、一番燃えていたことについて、書き出す (8分)</p> <p>P.15</p> <p>2. ライフイベント表を振り返りながら、一番嫌だったことについて、書き出す。(8分)</p> <p>3 「燃える」ために必要な条件とあってはならない条件を書き出す。(5分)</p>	<p>1. 「次に、ライフイベント表を振り返りながら、これまでの人生で一番夢中になったり燃えたりヤッターと感じたのは、いつ頃で、どんなことをしていた時でしたか。その時は思ったことや感じたこと、考えたことも書き出し、どうして燃えたのかを書きましょう。」</p> <p>2. 「これまでの人生で一番嫌だったり落ち込んだりしたことは、いつ頃で、どんなことをしていた時でしたか。その時は思ったことや感じたこと、考えたことも書き出し、どうして燃えなかったのかを書きましょう。」</p> <p>3. 「ライフイベントを書き、「燃えるわけ」と「燃えないわけ」を書いてみて、燃えるために自分にとって必要な求める条件とあってはならない(無い方がよい)条件を書き出しましょう。」</p>	<p>セルフワーク</p>
<p>5 まとめ (5分) 第1節を振り返り *指名をせずに発表してもらいたい旨を伝えて、举手した方の発表を期待する。</p>	<p>1. 今日セルフワークとチームでの話し合いを通じて、時間をみて、感想を発表してもらおう。</p> <p>2. セルフワーク中の記入の様子やチームの話し合いから、留意事項を提案として伝える。 (説明例)「今日はなかなか記入できなかった方もいるでしょう。今日はかけなかったという事実として、また気になったときに書けばいいでしょう。」 「チームでの話し合いでは、今日の内容はどれもその人にとっては正解です。いまは話せないということもあるんだ、と受け入れましょう。」</p> <p>3. 「今日使ったワークシートの右上に日付を記入し、リングファイルに綴じて終わります。」</p>	<p>講義</p>

ライフイベント（記入例）

年齢	その時の出来事	⊖ ← 気持ちの振れ → ⊕
3	幼稚園通いが始まる	●
4	初めてのお使いで褒められる	●
6	小学校入学	●
8	仲良しの級友が転校	●
10	ペットの犬が亡くなる	●
10	少年サッカーチーム入団	●
11	レギュラー選抜から漏れる	●
11	塾通いが始まる	●
11	校内合唱祭でクラスが優勝	●
12	中学校入学	●
12	合唱部入部	●
13	学園祭実行委員	●
15	楽しみだった修学旅行入院で欠席	●
16	高校受験第一志望校不合格	●
17	ボランティア活動老人ホーム訪問	●
17	後輩の女子から告白される	●

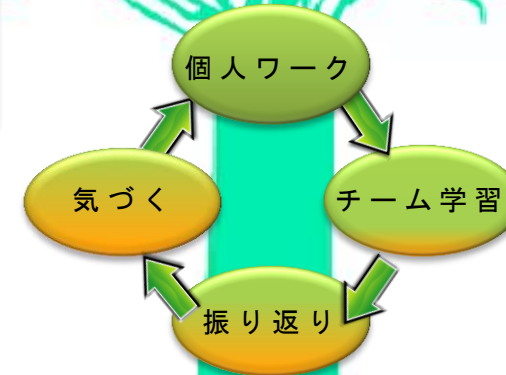
やる気の根っこ【目次】

- 第1章 チーム学習を進めるためのヒント
- 第2章 自己理解
 - 第1節 過去を振り返ろう！
 - 第2節 自分を知る手がかり
 - 第3節 私の大切なもの探し
 - 第4節 私ってどんな人？
 - 第5節 なぜ働くの？
- 第3章 仕事理解
 - 第1節 地図を作ってみよう！
 - 第2節 ケーススタディで学ぶ実際の仕事
 - 第3節 インタビューしてみよう！
- 第4章 仕事選択～未来へ向けて
 - 第1節 模擬店を出そう！
 - 第2節 未来カード
 - 第3節 背中にエール
- 参考資料

やる気の根っこ ストーリー

やる気

自らのキャリア観を自覚し、さらに社会で生き抜く力を意識し身に付けていく。
そんな「やる気」を今後も継続できるように、チームで学び合う構成になっています。



根っこ

第1章：導入編
チーム学習を進めるための
ヒント

効果的な話し合いをするためにコミュニケーション学習の目的を確認して、学習方法の共通理解をする。

第2章：自己理解編
自己理解から「なぜ働くのか」
の気づきへ

これまでの人生を振り返り、自分のものの考え方や性格・価値観・能力・強み・弱みなどについて知る。

第3章：仕事理解編
仕事に現実味を持ち、
就業意識を持つ

「実際に働くこととは？」を聞いたり、調べたりしながら、また、働く人からも声を聴き、互いに知識の共有をはかり体感する。

第4章：仕事選択～
未来へ向けて

多様な役割に対する自らの志向性を認識し、その上でキャリアプランを考え、共に学び合う仲間からエールをもらう。

受講生の声 (平成 23 年 9 月 キャリア教育技法研究委員会にて実施したモデル講座より)

- ✦ 自己理解をするというテーマの中で自分の過去を自らが書き、その時の気持ちの動きを表すというもので、私は過去を振り返ることの重要性、もう一度自分を見つめなおす良い機会となりました。
- ✦ 普段話さないような人たちと話すきっかけになったり、「自分」から何かしなきゃ！という気持ちをいただいたイベントでした。楽しかった。
- ✦ 普段学べないキャリア教育を、参加型の授業で楽しく学べた。今自分になにが必要なのかを改めて考えさせられるとても為になる講座でした。
- ✦ とても楽しく、また自分を見直すことができたすばらしい授業だった。コミュニケーションをとる楽しさや難しさも学ぶことができ良い体験だった。また是非やりたい。
- ✦ みんなのこと、少し知れたような気がしました。みんなの学科志望理由を聞いて、やっぱりこういう仕事に就きたいから、とはっきりしている人が多いなと思いました。講座とても楽しかったです。普段あまり話さない人と接することが出来るので、いい機会だったと思いました。またあったら、嬉しいなと思います。
- ✦ 特に「燃えるためになくはない条件、あってはならない条件」はそこから企業の選ぶ基準がみえてきたりするといったお話しは、とても参考になりました。



第2章 自己理解

第1節 過去を振り返ろう！

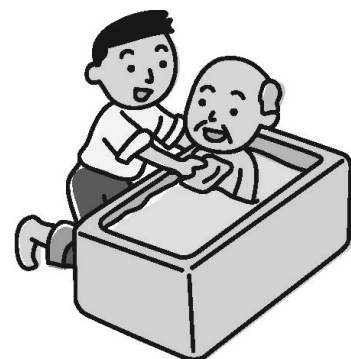
1. K君のお話から

■各自読んでみましょう

K君は、理学療法士を目指していましたが、2年連続で不合格となり、仕方なく、何とか、社会福祉学科に入学してきました。しかし、どの授業にも興味を持たず、授業に出ても、ただ座っているだけだった・・・とK君も、当時の彼を知る先生方も言います。

この学科は、国家試験受験のためにたくさんの現場実習がカリキュラムに入っています。入学して2ヶ月後、初めての实習先は高齢者施設でした。介護の助手として、食事の介助やおむつの交換が主な実習内容でした。福祉の仕事を志して入学してきた学生にとっても、初めての实習は、思いと現実のギャップに直面する経験でもあります。それだけに、K君にとっては、とんでもなくつらい体験でした。まず、消毒液の臭いがつらかった、そして排泄介助もつらかったと言います。「俺が目指してたのは、理学療法士なんだよ。なんで俺は、こんなところでおむつ換えてんだよ。」と心の中でつぶやく毎日だったそうです。「もう実習やめさせてもらおう・・・」と思い始めていたときに、入居者のTさんから、「ありがとな・・・」と声をかけられたのだそうです。「えっ？俺？」こんなにイヤイヤ実習やってるのに、そんな自分に「ありがとう」と言ってくれる人がいるということに、ほんとうに驚いて、そして、ほんとうにうれしかったと言います。初めて、自分が誰かの役に立てた喜びを味わうことができ、自分が求めていたのは、この喜びだったのだと気づいたと言います。

K君は、その後、社会福祉士の国家資格を取り、今も、デイサービスでソーシャルワーカーとして働き続けています。



第2章 自己理解

第1節 過去を振り返ろう！

2. K君のお話から ～ワークシート～

● ■K君が進路を決めた理由は何だったと思いますか？

● ■K君はTさんの言葉で、気持ちに変化が生まれました。K君はどんなことに気づいたと思いますか？

● ■あなたが専攻を決めた理由は何でしたか？

● ■チームのメンバーはどんな理由で専攻を決めていましたか？気づいたことを書いてみましょう。

第2章 自己理解

第1節 過去を振り返ろう！

3. 仕事の根っこ(人生の根っこ)

小学校入学時あたりから現在に至るまでの出来事(ライフ・イベント)を記入し、そのときの自分の気持ちの振れをプラス(+)
マイナス(-)の程度で置き、一本の線(ライフ・ライン)として完成させましょう。

年齢	その時の出来事	← (-) 気持ちの振れ (-) (0) (+) →

■ 記入後の感想

チーム全員の記入が終わったら、一人ずつメンバーに対してストーリー立てで紹介します。

第2章 自己理解

第1節 過去を振り返ろう！

4. 私が燃えるわけは？

- ①「仕事の根っこ(人生の根っこ)」で記入したこれまでの出来事(ライフ・イベント)を振り返りながら、特にプラス(+)を参考に一番燃えてた(ヤッターと感じた)のは、いつ頃で、どんなことをしていた時、どんな風に思ったり感じたり考えたのでしょうか。またどうして燃えたのでしょうか。

いつ頃	どんなことをしていた
	思ったこと、感じたこと、考えたこと
	どうして燃えたのか

- ②「仕事の根っこ(人生の根っこ)」で記入したこれまでの出来事(ライフ・イベント)を振り返りながら、特にマイナス(-)を参考に一番イヤだった(落ち込んだ)のは、いつ頃で、どんなことをしていた時、どんな風に思ったり感じたり考えたのでしょうか。またどうして燃えなかったのでしょうか。

いつ頃	どんなことをしていた
	思ったこと、感じたこと、考えたこと
	どうして燃えなかったのか

- ③「燃える」ためになくてはならない条件と、あってはならない条件を箇条書きに書き出しましょう。

必要な条件	あってはならない条件
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

チーム学習型キャリア教育ワークブック「やる気の根っこ」注文書(コピーしてご利用ください)

ご注文日 (FAX 送信日) : 月 日 ※入金確認日より発送日が変わります。 詳しくは下記の「●入金確認日と発送日」をご覧ください。		※次のいずれかに○をつけてください。 団体購入 個人購入 (請求書の名宛人は、 (請求書の名宛人は“〇〇(ご “〇〇学校 御中”となります) 担当者)様となります)	
団 体 名 ※ 法人名ではなく、学校名を記入してください。 ※ 請求書の名宛人を法人名等にする必要がある場合 : は、<備考>枠にてお知らせください。 ※ 納品先が個人宅等の場合は記入不要です。			
注文冊数 : 冊		希望発送方法⇒ メール便 ・ 宅配便 ※ いずれかに○をつけてください。 (1冊の場合のみ)	
ご担当者様 (請求書送付先・ 連絡先)	〒		
	所属部署 :		氏名 : 印
	メールアドレス : @		
	電話番号 ()	FAX 番号 ()	
納品先 ※請求書送付先・連絡 先と異なる場合のみ ご記入ください。	〒 様 電話番号 ()		
<備考> 必要な書類や請求書の名宛人名に指定がございましたらご記入ください。また、宅配便の場合、ご希望の納品日・納品時間がありましたら、下記の「●入金確認日と発送日」をご参照の上、無理の無い範囲でお知らせください。			

定価: 900円+税 (A4版・72ページ)

- 販売形態：職業教育・キャリア教育財団による直接販売のみ。ご入金確認後に発送。
- 送料(全国一律・税込)
 - ①DM便(1冊の場合のみ。受取確認なし・日時指定なし・保証なし)：164円
受取確認と保障がありませんので、万が一品物がお手元に届かない場合でも品物の再送付はいたしません(発送伝票番号はお知らせいたします)。表札がないと返却される事があり、再送には別途送料が必要です。
 - ②宅配便(1梱包50冊まで。受取確認あり・日時指定あり・保証あり)：1梱包850円
重要：平成27年4月1日発送分からは、1梱包50冊までとなります。
- お支払方法(銀行振込)：注文書受信後、上記のご担当者様宛に請求書を電子メールでお送りいたします。請求書到着後に指定の口座へ代金をご送金ください。請求書の郵送をご希望の場合は、備考欄にその旨をご記入ください。(別途82円が必要です)
- 入金確認日と発送日：(1)ご注文冊数が在庫を下回る場合は、ご入金を確認できました後、概ね7日後(土・日・休祭日を除く)に東京より発送いたします。
(2)ご注文冊数が在庫を上回る場合は、ご注文いただきました時点でご相談申し上げます。
- 納品予定日
 - ①DM便：目安として400km圏内は発送の翌々日、400km圏以上は発送日を含め4日目のお届けになります。(離島・一部地域を除く)
 - ②宅配便：通常、発送の翌日または翌々日のお届けとなります。(離島・一部地域を除く)
- 2冊以上お届けの際、リングファイルとテキストはセットいたしません。
- 都合により仕様・定価・送料が変更になる場合があります。最新情報は当会HPにてご確認ください。
- *お預かりした個人情報については、一般財団法人職業教育・キャリア教育財団のプライバシーポリシーにもとづき適正に管理します。